2000 年夏の高エネルギーパート総会議案書

2000 年度夏の学校高エネルギーパート準備校

2000 年 7 月 15 日

1　パート準備校の決定

来期のパート準備校を決定する必要がある。昨年度から主担当校、副担当校として 2 校選び、2 年づつ、最初の年は主担当校、次の年は副担当校になるようにするという方法をとることになった。(今年度は主担当校 ; 大阪大、副担当校 ; 京都大) これによって、前年度の準備校からの受け継ぎがスムーズになる。

過去の準備校は

- 1994 年 東北大、新潟大
- 1995 年 名古屋大、東邦大
- 1996 年 広島大、東京大
- 1997 年 京都大、奈良女子大
- 1998 年 阪大 RCNP、信州大
- 1999 年 京都大、東京理科大
- 2000 年 大阪大、京都大

2　研究会について

96 年以前は行われていなかったらしい。今年の研究会はどうだったか？一般募集の研究会はなかなか発表者が集まらない。来年以降も研究会を行うべきか。

3　開催時期について

三者総会の議案にも提出したが、高エネルギーパートでは加速器の shutdown のある 8 月に夏の学校を開催して欲しいと言う声があがっている。

4　日程の短縮について

今年も昨年度に引き続き、高エネルギーパートとしての活動は実質 4 日間のみとした。これは、実験などで忙しい M2 以上の人が少しでも参加しやすいようにするためである。しかし時期が 7 月であることもあり、参加者は M 1 が中心である。

- 4 日間にしたのは良かったか？
- 来年以降も、これをつづけるか？